

No.

昭和
年
月
日
嶋田洋一様
机下

降り癖がついていくらか楽になったようです。益々御健勝にて結構至極に存し上げます。
土上の刊行については益々ならぬお骨折リ、隔月にキイチン——と出せば上出来と思ひます。さゆを尽途として進まうではありませんか。
表紙題字二通り書いて見ました。何しろ簡單な字劃なので、味が出ません。巧いというよりは素朴な味が欲しいと思ひます。そうではないでしょうか。三枚の方の字体が、自分には氣に入っています。
八月二十四日

湯原芳山

織

都二三藝町手禮
三五九

湯原芳山

上上